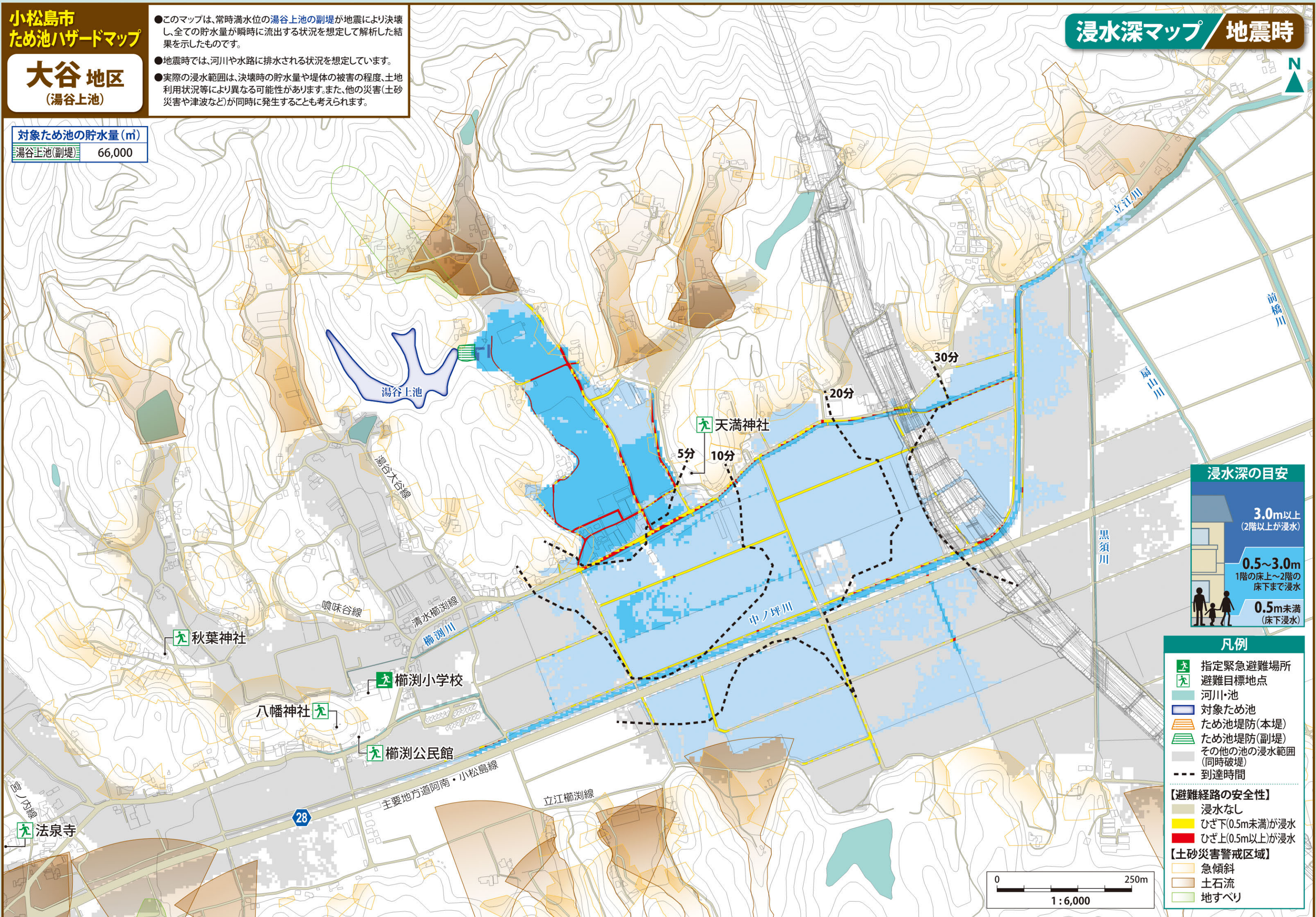


大谷地区
(湯谷上池)

- このマップは、常時満水位の湯谷上池の副堤が地震により決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定して解析した結果を示したものです。
- 地震時では、河川や水路に排水される状況を想定しています。
- 実際の浸水範囲は、決壊時の貯水量や堤体の被害の程度、土地利用状況等により異なる可能性があります。また、他の災害(土砂災害や津波など)が同時に発生することも考えられます。

対象ため池の貯水量(m)
湯谷上池(副堤) 66,000



浸水深の目安

- 3.0m以上 (2階以上が浸水)
- 0.5~3.0m (1階の床上~2階の床下まで浸水)
- 0.5m未満 (床下浸水)

凡例

- 指定緊急避難場所
- 避難目標地点
- 河川・池
- 対象ため池
- ため池堤防(本堤)
- ため池堤防(副堤)
- その他の池の浸水範囲(同時破堤)
- 到達時間

【避難経路の安全性】

- 浸水なし
- ひざ下(0.5m未満)が浸水
- ひざ上(0.5m以上)が浸水

【土砂災害警戒区域】

- 急傾斜
- 土石流
- 地すべり

